

2023年度 日本工学院八王子専門学校											
声優・演劇科											
基礎演技Ⅲ											
対象	1年次	開講期	前期	区分	必	種別	実習+ 実技	時間数	105	単位	3
担当教員	室生春、磯辺万沙子、岩崎正寛			実務 経験	有	職種	演出家(室生)、声優(磯辺、岩崎)、俳優(室生、磯辺、岩崎)				
授業概要											
個々の資質を伸ばしながら、呼吸法・発声法・発音訓練、それに伴う身体訓練などを含む演技の基礎を学ぶ。											
到達目標											
学生は発声法・滑舌はもとより、表現の内容が他者（観客）に正確に伝えられる技術の基礎を身につける。俳優としてチームの中で、リーダーシップを取り、作品作りへの新鮮なアイデアを開いた思考の中から想像力を広げ、提案できる実力をつける。そして、肉体と心そして言葉が繋がり、リアリティーのある言葉と説得力ある台詞を伝えることができる俳優となることを目標とする。											
授業方法											
俳優としての技術能力の向上を目指す。そして、基本を大切に授業を行う。演劇は共同作業であることから、作品を作り上げて行く過程で生ずる様々な問題を、お互いの立場を尊重しながら解決していく方法を学ぶ。演劇を学ぶことを通して、個人的にも集団的にも、尚且つ肉体的、精神的に成長したことを実感できる授業を目指す。											
成績評価方法											
授業態度・授業参加の積極性・授業時間内の発表における取組方法等、自己の能力をどれだけ高められたかを総合的に評価する。											
履修上の注意											
学生、教員がお互いを尊敬しあい、和やかに、かつ礼儀正しく行われることを基本とする。理由なき欠席・遅刻は認めない。携帯電話、スマートフォンの電源は切る、私語は慎む等、社会の常識的な行動は常に意識すること。課題には積極的に取り組むこと。社会性がない者は役者としても大きな欠陥があることを理解すること。成果も大切だが、取り組む姿勢を最も大事にしなければならない。また、授業時数4分の3以上出席が必須。											
教科書教材											
必要に応じて随時、課題のテキスト及び台本配布。パソコン・タブレット・スマートフォンなどのモバイルツール、参考資料等は授業内で指示する。											
回数	授業計画										
第1回	ストレッチ等、基本の必要性を理解する										
第2回	呼吸等、基本の必要性を理解する										
第3回	発声等、基本の必要性を理解する										

基礎演技Ⅲ

第4回	母音法等、日本語の仕組みを理解する
第5回	台詞の持つエネルギーを感じてみる
第6回	選び抜かれた言葉、日本語の美しさを理解する
第7回	台詞を発するため、今、自分に何が必要かを理解する
第8回	言葉のエネルギーを利用し、役のなかで自分を解放することを理解する
第9回	人を惹きつけ、観客を意識した表現を理解する
第10回	情景描写表現に必要な想像力について学ぶ
第11回	短編台本を用いコミュニケーションの楽しさ、難しさを理解する
第12回	短編台本を用い相手がいるときの台詞の必要事項を理解する
第13回	短編台本を用い動きの中で、なぜこの言葉が生まれたのか、言葉の必然と動きの必然を考える
第14回	短編台本を用い言葉や感情の裏側を理解し、必然と偶然を盛り込んで演技の奥行きを広げる
第15回	短編台本を用い感情表現を工夫しながら発表することができる